

土井 敏邦

現地報告会

ガザ 人権の臨界

2009年4月5日(日)13:30-16:00(12:45 開場)

京都大学(本部キャンパス) 法学部本館 1階 法経第4番教室

一般公開(資料代 500円)

2008年12月末から3週間にわたって続いたイスラエルによる攻撃。その実相とは? 停戦後、ただちに現地に入り取材してこられた土井敏邦さんに、映像を交えながらお話いただきます。

Toshikuni Doi

フリージャーナリスト。1985年よりパレスチナ・イスラエルの現地取材を続ける。主書に『沈黙を破る——元イスラエル軍将兵が語る"占領"——』(2008年、岩波書店)、『パレスチナの声、イスラエルの声』(2004年、波書店)など。2009年完成の記録映像『パレスチナ・届かぬ声』(4部作)では、過去15年間追いつけたイスラエルによる"占領の構造"を描く。初監督長編ドキュメンタリー『沈黙を破る』(2009年)が今春より公開予定。



【主催】京都大学大学院 人間・環境学研究科 岡真理研究室(「思想としてのパレスチナ」ゼミ)

【共催】京都大学 GCOE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」国際共同研究

「移動するマイノリティの生き延びの為の親密圏生成に関する実証的研究」班

【問合せ先】075-753-6692(専攻総務)、平日9:00-17:00(但し昼休み12:00-13:00を除く)

* 空襲下のガザからアブデルワーヘッド教授が発信し続けたメールが本になりました。『ガザ通信』(青土社)、1500円、3月24日発売。

* 5月14日(木)18:30- 『Nakba』アーカイヴス版「序章」上映会+広河隆一講演会(京都大学、文学部新館第3講義室)